



東京電力福島第一原子力発電所の放射性物質トリチウムを含む処理水に関する意見書

反対討論

具体的な案を示すべし
阿部憲一議員

議員発議で意見書

賛成7 反対2

提出者

黒田政徳 議員

賛成者

門馬 巧 議員

北郷 伯弘 議員

〔要旨〕

各地方議会においては、海洋や大気への放出に反対する意見、或いは国の責任における早期方針決定など、ALPS処理水に関する議決書、意見書が可決されている。

広野町は双葉地方復興の最前線拠点としての役割を担い、帰町した町民も生活の安寧を取り戻しつつある。しかし、ALPS処理水をめぐむる問題を先延ばしにすることは、町民に更なる不安を抱かせる恐れがある。

よって本町議会は、下記の事項について強く要望する。

①ALPS処理水の処分方針について、国の責任において早急に決定すること。

②ALPS処理水の処分方法は、福島県民はもとより国民に対して丁寧な説明を行い理解が得られるよう慎重で最適な方法を講じること。

③ALPS処理水の処分方法の決定による新たな風評被害が、復興や住民帰還の妨げとならないよう責任をもって対策を講じること。

〔提出先〕

内閣総理大臣
経済産業大臣

トリチウムの問題は、原発の維持や核燃料サイクル事業と密接にかかわっています。

国はトリチウムを保管すると他の原発事業でも同じように保管しなければならぬという世論が生まれ、核燃料サイクル事業自体が失敗してしまうため当初から海洋放出したいと考えています。

そして、双葉町、大熊町に対して他の選択肢がないように圧力をかけています。

国は県民が望んでいるようにもっと丁寧な説明をするべきです。

今回の意見書というのは、町の方向性が何も示されておらず、その上に早急に決定することと記載しており、

国の方向性を後押しするものです。

他の議員からは国の方針を示した後に再度意見書を出すこともできるとの意見がありましたが、国が一度決定してしまえば覆すことは難しいと考えます。

そうならばこの意見書が広野町議会の最終的な意見となり、大きな禍根を残します。

少なくとも海洋放出に反対する文言や具体的な保管方法、或いは処理方法を記載し、こちらから国に提案すべきと強く思います。

その他の可決議案

- 議案第85号 広野町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定について(指導主事の給与に不利益がないようにするための条例制定)
- 議案第86号 広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(地方税法施行令の改正が令和3年1月1日から施工されることに伴う条例改正)
- 発議第3号 広野町議会会議規則の一部を改正する規則(地方自治法の引用条項や記載内容を現状に則して改正)

12月定例会 質疑

長期持続的な財政運営を

12月定例会の質疑では、詳細な事業の内容や財源などにも注目し、多くの質疑や意見が出されました。その中の一部を紹介します。

キッズゾーン整備の内容は

門馬巧 議員

子ども園周辺道路のキッズゾーン整備に係る路面塗装工事費用として244万7千円の補正予算が計上されていますが、どのようなものを整備するのですか。

坂本こども家庭課長

形状はゾーン30のようなもので、幅が約2メートル、長さが約5メートル程度のものを8カ所に整備する予定です。材質については耐用性等を考え、建設課などと協議して決定していきます。



ゾーン30 (下北迫)

ジャズフェス実施の理由は

黒田政徳 議員

新型コロナウイルス感染症の影響で童謡まつりが中止となったことで予算が減額されています。

町長の経過報告の中でジャズフェスティバルを行ったという報告がありました。童謡まつりが中止になる中でどういった経過で開催したのですか。

小松復興企画課長

童謡まつりは、県の屋内イベント開催指針について、ガイドラインに沿ってイベント開催の有無を決定し、残念ながら開催に至りませんでした。

ジャズフェスについては、実際に事業を実施したのは民間の団体ですが、町として協賛し積極的にかわって事業を実施しました。本イベントは、規模が小さく、的確な感染対策ができるということもあり実施しました。



町は後援で実施